啓林堂書店外商部　担当:前田・森川
TEL0743-51-1000/FAX0743-53-5151

書名	万葉歌人と中国思想	著者名	増尾　伸一郎／著				
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-72310-7	本体価格	¥12,500	発売	2026/10/1
内容	万葉集は、当時の政治・社会・祭儀等の状況を知る史料としても重要である。本書は万葉歌を中心に、日本古代の文学作品における道教・仏教・儒教など中国の思想文化の受容相を、多くの漢籍や経典類をもとに考察する。						

書名	天皇側近たちの奈良時代	著者名	十川　陽一／著				
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-75847-5	本体価格	¥2,300	発売	2026/10/1
内容	古代日本における天皇の側近とは、いかなる存在だったのか。都造りなど天皇周辺の事業から手がかりを探り、藤原・阿倍氏らが担った内臣の職の起源と展開を軸に、聖武天皇・光明皇后を中心とした人間関係などを読み解きながら側近の具体像に迫る。天皇家と律令制の構造の中で側近たちが果たした役割を位置づけ、彼らを通して古代国家像を描く。						

書名	カラーMAP付き 世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」を歩く	著者名	瀧音 能之／著				
出版社	宝島社	ISBN	978-4-299-08263-3	本体価格	¥1,236	発売	2026/10/9
内容	奈良県の「飛鳥・藤原の宮都」が世界遺産に正式決定したことで、全国から注目されています。このエリアは6世紀後半～8世紀にかけての「飛鳥時代」の中心地でした。仏教伝来、大化の改新、女性天皇の即位など重大な出来事が多く、「日本」という国家が形成された時代です。この時代の数々の謎を解説しながら、多くの遺跡・遺構写真も多数掲載。三つ折りの大判カラーMAP付きで歩いて学べる、飛鳥時代の入門編に最適な一冊です。						

書名	Dear deer 奈良の鹿 ポストカードブック	著者名	佐藤和斗／著				
出版社	青幻舎	ISBN	978-4-86831-066-2	本体価格	¥1,500	発売	2026/10/13
内容	長年にわたり奈良の鹿たちを撮影し続ける自然写真家・佐藤和斗が、ここでしか出会えない鹿たちの豊かな表情や、奇跡のような一瞬のきらめきを捉えた作品が、一冊の特別なポストカードブックになりました。 手に取りやすいコンパクトなA6サイズ（英語併記）で、国内外問わず、奈良旅の思い出やお土産にはもちろん、大切な人への贈り物にもピッタリの一冊です。						

啓林堂書店外商部　担当:前田・森川
TEL0743-51-1000/FAX0743-53-5151

書名	物語のあるクラシックホテル			著者名	甲斐みのり／著		
出版社	エクスナレッジ	ISBN	978-4-7678-3611-9	本体価格	¥2,000	発売	2026/10/14
内容	クラシックホテルを愛してやまない文筆家・甲斐みのりが 日本のホテル史を語る上で欠かすことのできない、 40軒超の老舗ホテルをご案内します。						

書名	修験霊山総覧			著者名	宮家 準／著		
出版社	春秋社	ISBN	978-4-393-20902-8	本体価格	¥3,600	発売	2026/10/21
内容	日本の国土の7割を占める山々は、古来より神霊の居所、霊魂の源泉として崇められ、山岳信仰とシャーマニズム、仏教、神道などと習合してできた修験道と深い関わりを持ってきた。全国約150の霊山をとりあげ修験との歴史とともに紹介する大著。						

書名	やまと尼寺 精進日記 4 おいしい日々			著者名	NHK「やまと尼寺 精進日記」制作班／著		
出版社	NHK出版	ISBN	978-4-14-082015-5	本体価格	¥1,700	発売	2026/10/28
内容	累計発行部数24万を突破した人気シリーズ、待望の最新刊。御年75となられたご住職の明朗で豊潤な日常と、季節の恵みを存分にいかした精進料理を紹介。いくつになっても、ひとりでも、里の人々の協力を仰ぎながらたのしく生きるご住職の「まんぷくライフ」を、四季それぞれの料理レシピをまじえつつ、深みのある言葉・魅力的な笑顔と共にお届けします。放送開始からナレーションをつとめる人気俳優・柄本佑さんがご住職のもとを訪ねた「お寺だより」を特別収載。ファン必携の1冊です。						

書名	卑弥呼の鏡			著者名	九州国立博物館／著		
出版社	新泉社	ISBN	978-4-7877-2603-2	本体価格	¥3,000	発売	2026/10/30
内容	日本各地の古墳から出土し、卑弥呼やヤマト王権の実態をめぐって多くの考古学研究者・愛好者の間で注目されてきた「三角縁神獣鏡」。それはどのようにして生まれ、卑弥呼やヤマト王権の成立に関わっていったのだろうか。 現在の弥生時代～古墳時代研究を牽引する研究者による7本の論考と、最新の三角縁神獣鏡目録が収録されており、古代ロマンあふれる銅鏡の魅力と研究の最前線を知るための必読書である。						